

4 - 8 犬山および三河における地殻変動観測 (続報)

Crustal Strain and Tilt Observations at Inuyama and Mikawa

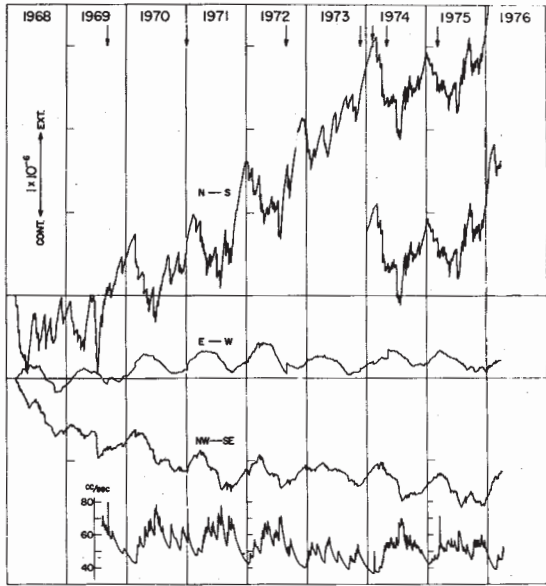
名古屋大学理学部 犬山地殻変動観測所
三河地殻変動観測所

Inuyama Crustal Movement Observatory and Mikawa Crustal Movement
Observatory, Faculty of Science, Nagoya University

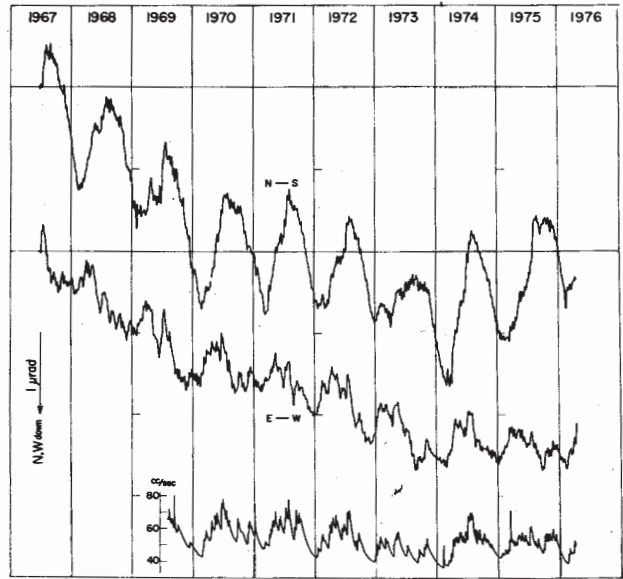
犬山および三河両地殻変動観測所における 1973 年までの観測結果はさきに報告した¹⁾。今回はその後 2 年間の記録を加えた結果を第 1 図～第 7 図に示す。第 1 図は犬山の伸縮計による歪変化で、前報第 1 図の続きである。1974 年からとくに N - S 成分の伸び方の傾向に変化がみられる。なお 1974 年 9 月より感度が 20% 上がったが、図は読みとりをそのままプロットしてあるので、右端のスケールを 20% 伸ばして見て頂きたい。第 2 図は犬山の水管傾斜計による傾斜変化で、前報第 2 図に対応する。これにも 1974 年ころから傾向の変化がみられる。第 3 図は犬山の水平振子式傾斜計によるもので参考までに掲げた。第 4 図と第 5 図は犬山の伸縮計および水管傾斜計から求めた主歪および傾斜変化のベクトル図で、前報第 3 図右と第 5 図左の続きである。1974 年以降歪速が小さくなったこと、傾斜が北西から南西方向に変わったことがみられる。三河は観測開始以来 3 年間の資料なので、永年の傾向はあまりはっきりしないが、第 6 図に水管傾斜計の水位の読取り値の変動を、第 7 図に伸縮計による歪の変化を示す。測器の配置等については前報を参照されたい。

参 考 文 献

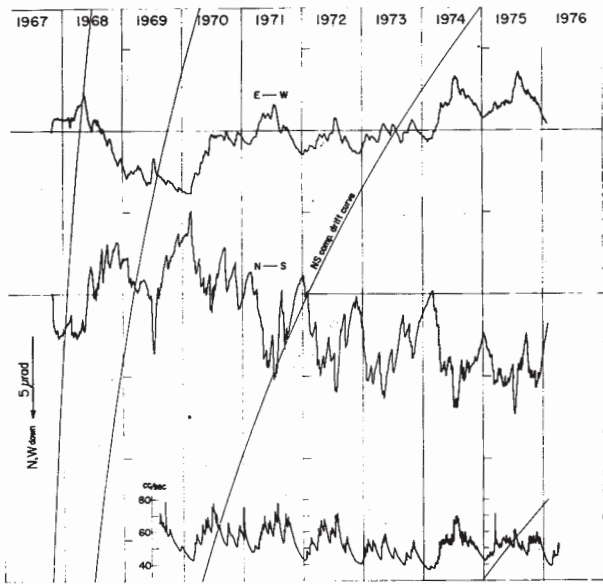
- 1) 犬山地殻変動観測所・三河地殻変動観測所, 犬山および三河における地殻変動観測, 地震予知連絡会々報 12, 136 ~ 142, 1974.



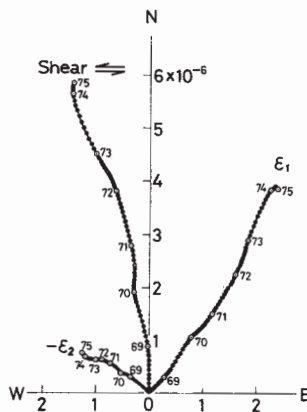
第1図 犬山における歪の変化
 下端は坑内からの湧水量変化
 Fig. 1 Variation of the extensometer readings at Inuyama.



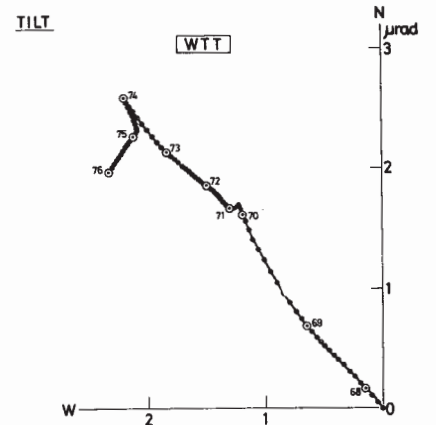
第2図 犬山における水管傾斜計による傾斜変化
 Fig. 2 Variation of the water-tube tiltmeter readings at Inuyama.



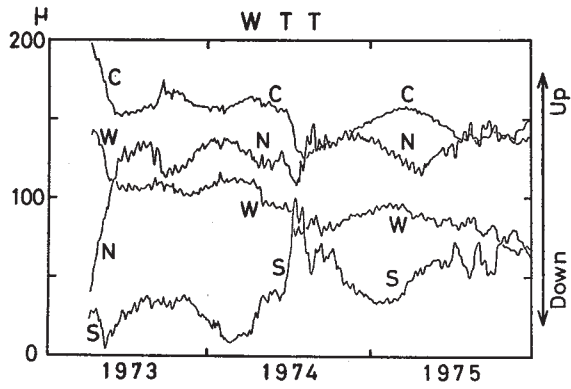
第3図 犬山における水平振り子傾斜計による傾斜変化
 Fig. 3 Variation of the horizontal pendulum tiltmeter readings at Inuyama.



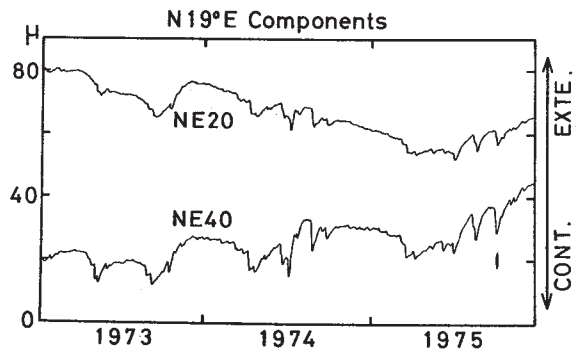
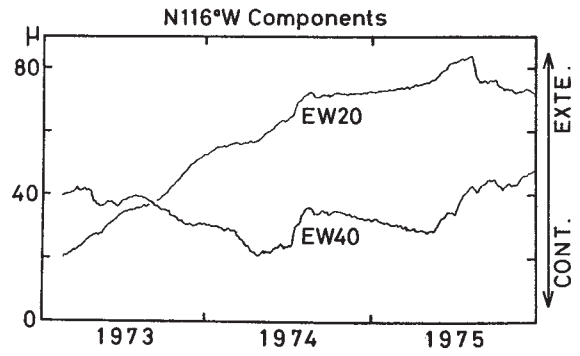
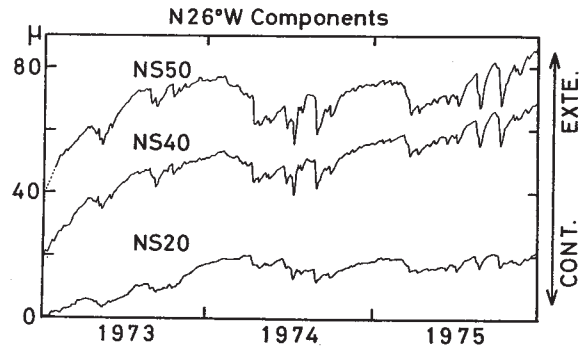
第4図 犬山における水平歪のベクトル図
 Fig. 4 Vector diagram of the principal strains and the maximum shear at Inuyama.



第5図 犬山における傾斜変化のベクトル図
 Fig. 5 Vector diagram of the secular variation of tilt at Inuyama.



第 6 図 三河における水管傾斜計の水位の変化
 Fig.6 Variation of the water-tube tiltmeter reading sat Mikawa.



第 7 図 三河における歪の変化
 Fig. 7 Variation of the extensometer readings at Mikawa.